

令和6年4月15日

保護者 様 ・ 七生福祉園職員 様

東京都立七生特別支援学校長

黒澤 一慶

保健だより 4月第2号

腎臓・糖尿病検診(尿検査)について

本日(4月15日)、検査容器セットを配布しました。

◎4月16日(火)又は17日(水)に、検尿袋に学部、学年、クラス、氏名、年齢を記入のうえ連絡帳袋に入れて提出してください。採尿日以外の回収はできません。

※生理などの理由で今回提出できない場合は、2次検査日の5月8日(水)又は9日(木)に提出ください。新たな容器が必要な場合のみ、再配布しますので、お声がけください。

尿のとりかた

- 1 前日、寝る前に必ず排尿をする。
- 2 採尿日の朝は、起きてすぐ(洗面、着替え、食事等より前に)尿をとる。
尿は、出はじめと終わりをさけて、同封のカップにとる。
- 3 プラスチック容器のふたを外し、容器の中心部を指で強くつまみ、中の空気をできるだけ出してから容器をカップに入れ、容器に書かれた下の線を超えるように、尿を吸い上げる。
- 4 プラスチック容器のふたをしっかりと閉める。(こぼれると、検査ができません。)
- 5 プラスチック容器を提出用の紙袋に入れて、紙袋の入口を2回折り曲げる。
(のりづけやステープラーどめは、しない。)



※取り終えた検体は、検尿袋に学部、学年、クラス、氏名、年齢を記入のうえ連絡帳袋に入れて提出する。

※トイレでの排尿が難しい方には、採尿シート(小・大)のご用意があります。必要な場合には、連絡帳等でお声かけください。

腎臓のはたらきと尿検査

腎臓は、腰の少し上の辺りに左右ひとつずつあり、握りこぶしより少し大きい、そら豆の形をした臓器です。腎臓は血液をろ過して、体内で余分になった水分や塩分、老廃物を尿として排せつし、体の水分や血液中に溶けている多くの成分を一定に保ちます。また、造血や骨の代謝に必要なホルモンの生成なども行います。

尿検査では、尿に蛋白、赤血球、糖分が出ていないかを調べます。これらは体に必要なものなので、通常、尿に出てくることはありません。腎機能や糖代謝などに何らかの変調があるときに、尿から検出されます。腎臓病や糖尿病は自覚症状が少ないため、気が付かないうちに病気が進行してしまうことがありますが、定期的に尿検査を行うことで、これらの病気を早期発見することができます。

結果について

学校での健康診断はスクリーニング検査(所見があるかどうかを大まかに調べる検査)です。尿検査で所見があっても、直ちに疾病に結びつくものとは限りません。個人の体質による場合や、採尿日の体調等が影響した一過性の場合もあります。2次検査、3次検査を行うことで、体質や一過性のものか、疾病によるものなのかを調べます。

1次検査で所見がみられた方にのみ、4月下旬～5月初旬頃に2次検査のお知らせをお渡しします。
2次検査対象となった場合は再度、検体をご提出ください。容器は、結果と共に配布します。